

第2回懇談会「ご意見シート」（区の取組状況）について

1 情報発信拠点としての新たな事業展開

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	区の取組み状況
1	<p>地域行政コーナーの設置、各地域館毎に。「区民情報ひろば」は資料不足</p> <p>地域資料の収集・多様な情報 産業経済部（経済課、都市農業課、商工観光課） 環境課、みどり推進課 商工会議所 新聞社、テレビ局 商店会</p> <p>現地情報 = 地域おこし</p>	<p>全館で練馬区ならびに東京都の行政資料を収集</p> <p>地域のミニコミ誌やフリーペーパーも収集対象</p>
2	<p>2011.3.11を思い出して、あの時何をすべきだったのか、図書館が非常時に何を引き受けなければならないかを全員で討議したい。「地域の情報」とは何なのか、曖昧なまま使っていると、議論が進まない。地域の住民にとって、どういう情報が必要なのか、図書館がその情報の発信を行うべきなのかを話し合えば、自ずと道が見えるのではないだろうか。</p>	
3	<p>これからの図書館のあり方として、区民の課題解決の支援が求められている中で考えられることは、区政や地域の情報をただ発信するだけでなく区民のニーズに合わせた工夫が必要です。例えば区報などのダイジェスト版をそれぞれの対象者別に作り、必要とする内容にしばり発信し、高齢者向けには文字を大きくするなど手にとって読んでもらえるようにしなければ意味がありません。</p> <p>-----</p> <p>また12館を拠点としてそこから地域へ発信（来られない人にも届くような）システムも必要です。忙しい世代の方、高齢の方、障害のある方それぞれに合った方法を探る必要があります。</p>	
4	<p>PCが使える人と、使えない人の情報格差は、年々大きくなっています。まだ、中高年では、使えない人が多く、この人々に対する気軽な入門講座を図書館の仕事に加えてもらえないでしょうか。</p>	
5	<p>練馬区・地域に根ざした特定の情報の提供を優先する。特にエリア情報、行政サービス、公共事業体（社会福祉協議会やボランティアセンター、etc）、ミニコミ誌などの掲示・提示。</p>	<p>全館で練馬区ならびに東京都の行政資料を収集</p> <p>地域のミニコミ誌やフリーペーパーも収集対象</p> <p>ブックスタートでは、12館の各地域に根差した（子育て）情報（例：各地域の近隣子育て広場、児童館情報、周辺子育てマップ等）を配布し、事業実施時に掲示</p>

	「ご意見シート」の意見	区の実践状況
6	自由に使えるパソコンルームの増設（無線LANアクセスポイントの設置）	一部の館で、アクセスポイントを設置
	電子書籍の貸出し	
	Twitter（ツイッター）、Facebook メールマガジンの導入	図書館の催し 新着図書のお知らせ
7	区政情報の発信拠点をはじめ、各図書館において図書館周辺の情報発信拠点として活躍するようにする。 関町図書館だとしたら、関町、立野町、上石神井辺りの情報を発信。 また、必要な人が受信できるようにする。	ブックスタートで各図書館周辺の子育てに役立つ情報を配布、掲示
8	電子化、ペーパーレス化。 CD、レコード、カセットテープ、ビデオテープなど視聴覚資料は100%電子化へ。 書籍は手指を使い紙を触る、捲ることが脳の発達によいと思われる乳幼児向け、児童向けを除き順次電子化へ。 まずは新聞、雑誌からがよいと思います。 同時に館内利用者すべてに行き渡る数のタブレット型情報端末の購入。 まずは館内利用のみから、次は個人で情報端末を持っている利用者へコンテンツの貸し出し、最後はタブレット端末の貸し出しも可能になるとよいです。	
	電子化により、紙の資料の所蔵数を減らしていき、空いた書棚のスペースに椅子を多数設置。 飲食自由。 大声でなければ会話も自由にします。 また、調べものをするための飲食、私語不可の会議室程度のスペースも確保。	
	館内は無線LANでどこにいてもタブレットでWebへのアクセスが可能。 電子書籍であるので、文字の拡大、音声読み上げが可能。 オーディオブックもすでに数多くあります。 Podcastを使えば、大学の講義を聞くこともできます。	
	著者の死後50年を経過し、著作権が消滅した作品(青空文庫)の積極的な活用、電子化。 今後、10年以内に三島由紀夫、川端康成などの著作権が消滅します。	

	「ご意見シート」の意見	区の実施状況
9	<p>今後10年で、公立図書館がどうなりたいのか、委員全員の共通認識が必要ではないか。 方向性が一致していれば、それを実現するための事業展開も決めやすいのでは？</p>	
	<p>住民の生活、仕事、自治体行政、産業など各分野の課題解決を支援するための相談、情報提供の強化をしてほしい。</p> <p>インターネットを活用した情報発信が必要・・・(例)行政や政策について、より身近に知ることができる。(自動的に関連記事なども添付、詳しく知りたい場合の図書を紹介)</p> <p>また、自身のビジネスや業務について、専門的なことや疑問点が調べられ、関連図書や関連記事も検索できるシステム。</p>	<p>レファレンスで活用するためのデータベースとして約2千件の情報を蓄積</p> <p>国会図書館のレファレンス協同データベース事業に参加</p>
	<p>暮らしや仕事に役立つ情報がほしい・・・(例)身近なトラブル(インターネットトラブル、近隣トラブル、詐欺など)から身を守る方法、対処法などがわかる資料の提供。</p> <p>印刷媒体と電子媒体を組み合わせる利用できるようにする。</p> <p>いずれも、使いやすさと、PR(チラシ、ポスター、展示)が必要。</p>	<p>東京くらしねっとなど行政が作成したパンフレットの配布</p> <p>図書館ホームページにウェブレファレンス(インターネットを利用したレファレンス)の機能</p> <p>光が丘図書館にレファレンス専用のカウンターを設置(館内に案内表示)</p>

2 区民や地域との協働・協力に向けた事業展開

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	区の実践状況
1	<p>地域文化への積極的関与、そして振興 地域研究雑誌・郷土史研究グループ・関係事物の展示 地域出身作家の資料展示、研究会・読書会</p>	<p>光が丘図書館や春日町図書館などに青少年コーナーを設置 関町図書館では「つぶやきノート」、小竹図書館では「おしゃべりノート」、南大泉図書館ではティーンズトーク（ホワイトボードを利用）を設置し、自由に交流、居場所の提供</p>
	<p>居場所づくり、居場所としての図書館 人と人をつなぐ役割</p>	
2	<p>50歳以上の成人の登録率が30%をきるのは公共図書館として看過できないデータである。大学講座やカルチャーセンターに通う人が増える年代で、図書館の登録率がさがっているのは不自然だ。 友の会を組織したら、どうだろうか。事業費で行うので、行事などが催行しやすくなる。 講演会、映画会、古典や漢詩を読む会、川柳や俳句をつくる会、詩歌・お話の朗読 etc、を行い、50歳以上の人の関心を図書館の活性化に振り向けることができるのではないか。</p>	
3	<p>区民のもっているノウハウを活用できるような人材バンク制度をつくり各図書館のイベントや活動に地域と協働で出来る体制を作る。</p>	<p>（既にノウハウを持っている方、持っていない方どちらも）よみきかせ、おはなし会のボランティア養成講習会を開催し、各図書館で活動できるよう、登録や場を紹介</p>
	<p>現在すでに各図書館で様々なかわりを持っている人が多数いますがその人たちのネットワークづくりを行い、相互乗り入れをして事業展開できるようにする。</p>	
4	<p>個の生活を侵食しないように配慮したい。地域活動、サークル等の場所・提供は認めるが、あくまで図書館としての学習研究の場としての立場を忘れないでほしい。</p>	
	<p>図書館正規職員は、地方公務員法の規定はあるが、区と組合の関係が調整できれば365日、24時間、サービス提供する日がくるかもしれない。私の経験によるとドラッグストアやコンビニでは20年前には、携帯端末を使って開店したままで在庫チェックがされていた。今のように閉館して館内整理は時代遅れだと思う。</p>	
	<p>国立国会図書館は、現在、蔵書のデジタル処理を着々と進めているが、区立図書館もその方向の事業を進めていこう。</p>	

	「ご意見シート」の意見	区の実施状況
5	図書館開催の企画への参加募集	協働事業に関わるイベント（例：ブックスタートの会）は、企画段階からアイデアを募集
6	場所の提供。 省エネの一環として、自宅ではなく図書館で過ごす時間を増やし冷暖房費を減らしてもらう。	
7	区民にとって、図書館が身近であり、地域のコミュニケーションの場として活用してほしい。 (例) 生涯学習の一環として、区民のための講座開催。 区民主体の区民レクリエーション、古本市、シンポジウム、区民集会。 同じ趣味・悩みを持つ区民のオフ会・情報交換の場の提供。	
8	図書館資料（本）を通じて、地域住民のコミュニケーションを図る。 (例) 公募などによる 一般区民参加による 図書館内のレイアウトの変更。紹介本のコーナーなど	光が丘図書館では、利用者団体が、年に一回テーマを決めて本の展示を実施

3 学校および子育て家庭への支援に向けた事業展開

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	区の実施状況
1	学校支援センターの設置 資料のネットワーク化・相談事業・情報発信	
	本の探検ラリーの児童館での実施 = 幼児対象事業との連携	
	ブックスタート事業の充実 保健師との協働	年1回、保健相談所の保健師を講師としたブックスタート講習会を開催
2	中学生を図書館に向かわせる仕掛けがほしい。学校図書館はその重要性が認識されておらず、十分な体制がとられていないところが多い。学校図書館の司書教諭+図書主任+学校司書+図書館ボランティアといった体制を整えて、子どもたちが読書を糧に、しっかりと自立できるよう導くのは大人の責務だ。	「中学生のあなたにおくるブックリスト」の作成、配布 一部図書館の青少年コーナーに「つぶやきノート」を置いて、自由に交流
3	読みきかせ等興味がありながらきっかけのない人々がいいます。ボランティア養成講座があればいいと思います。(読みきかせの講座はあるようですが、その他の活動でボランティアの不足はありませんか)	ボランティア養成講座を実施 24年度は、学校よみかせボランティア講習会2回、一般向けよみかせ講習会1回、(図書館よみかせ)ボランティアのフォロー(中級)講座1回を実施予定
4	朗読会、読みきかせ会などを、すぐれた朗読者で行い幼児期からの読書力の育成に配慮する。読書力が向上すれば基礎学力ものびる。幼児期においてのすばらしい朗読体験は情操教育にもつながる。 幼児期において上質な図書に接することは、とても役立つので、そのようなチャンスをすべての子供さん方に与えられるような図書館を目指してほしい。	
5	学校図書館の蔵書の充実 教科書に沿った資料の充実 必要な資料がすぐ手元に届くための情報ツール	学校図書館支援員や区立図書館から学校図書館蔵書の充実について助言 教科書に沿った資料を、学校支援専用図書として団体貸出実績や学校の意見をもとに充実
	パソコン・プリンター等の設置(学校 公立図書館リンク)	
6	専任の司書教諭がない学校への職員の派遣。	指定管理館から、学校図書館支援員を配置
	乳幼児のいる家庭に学校図書館を積極的に利用してもらえるようにアピール。	

	「ご意見シート」の意見	区の実施状況
7	<p>普段、図書館に来ない子供たちをどのように取りこむかが課題。</p> <p>魅力的な蔵書・・・(例)ライトノベルズなど人気の本で、客寄せをし、次の段階へ後押し、アドバイス。</p>	
	<p>お目当ての本がなくても、図書館にあれば、好みにあった本が紹介してもらえるおすすめ本の紹介システム・・・</p> <p>(例)パソコンで、チャートをたどっていくとおすすめの本が見つかる。</p> <p>職員が、本のソムリエに(その子やその親子にあった本をアドバイス)。</p>	<p>「本の探検ラリー」の実施を通じて、本に親しむきっかけづくり</p> <p>学校でのブックトークの実施により、いろいろなジャンルの本に親しむきっかけづくり</p>
	<p>読書感想文の書き方講座(学校支援?)</p>	<p>春日町図書館では、子ども向け事業で、夏休み宿題お助け隊「読書感想文編」を実施</p>
	<p>いろいろな働きかけをした結果、子供たちがどのように本と関わりをもって、成長したか、の追跡調査。</p>	
8	<p>近隣小中学校などによる先生および児童による紹介本のコーナー及びレイアウト</p> <p>月に1回くらい(例:雨の日など)乳幼児連れの親子が少しくらい(ここが難しいところですが・・・)騒いでも良い日と定める。(館内)</p>	<p>25年度開設予定の南大泉図書館分室では、小学校低学年までの乳幼児・児童および乳幼児の保護者を主な利用対象としており、これらの対象者が利用しやすくくつろげる空間となるよう整備計画を策定</p>

4 図書館の資料や人材などを活用した事業展開

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	区の実施状況
1	情報ナビゲーターの育成、利用者が正確に信頼できる情報を入力できるように保障する。 障害者・高齢者・多文化に対応	
	生涯学習関連施設への資料のテーマ展示	
	男女共同参画センター「図書・資料室」との資料の共有 資料1参照	
2	有能な人材を講師に、あるいは指導者として迎え、図書館資料を使ってできる事業は多岐にわたりあると思う。周年行事など以外は、事業費がとりにくいのが難点である。 それゆえ、2で述べたように、友の会を作り、協働事業としてやってはどうだろうか。	
3	音声訳図書について、テープ図書しか読めない(聞けない)方々にデジタイズ図書が読めるよう親切に手ほどきし、早くデジタイズに一本化してほしい。現在は、テープ化に人手をむだに使っている。 全国ネットにつなげる仕事も急いでほしい。	図書館にある機器を使い操作を試すことは可能 既存資料のデジタイズを含め移行中 今年度より全国的な組織であるサピエ図書館に加入
4	私の今回の資料は、一般職員の方が音訳しているもので、それで必要十分条件を満たしている。 墨字資料の提供に関しては、一般教養、知識があれば専門朗読者を必要としない。情報提供としては、図書館職員が音訳すればいいと思う。文芸作品、小説等の朗読には、朗読の専門訓練が必要で、そこには異なった情趣がある。	
	視覚障害者の社会では、ナイーブネット、サピエ図書館が全国規模で展開されていて文芸作品等は、全国で一館が着手すれば事はすむようになってきた。光が丘図書館も採用しているので、余力を練馬独自の情報の発信にあてられるようになった。より個性を発揮できる時代がきたと思っている。	
5	貴重な図書や資料などを電子データ化させて、劣化・損傷などを気にすることなく利用してもらおう。	
6	ねりまつりや照姫まつりなど、区内の催しに出店し図書館のアピール活動。利用者の増加を目指す。	
7	高齢者、体の不自由な方に対するサービス強化 (例) 大活字本、録音図書の充実。交通手段のニーズに答える	全館で大活字本を所蔵 体の不自由な方への図書館資料郵送サービスの実施
	高齢者援助・・・(例) 健康、保険、年金、税対策、介護、栄養など、高齢者にかかわる問題について、講演、相談会の開催。	今年度各館の事業で実施 遺言状の書き方(南田中) 再就職支援(春日町) 年金講座(南田中)など
	生涯学習プログラム・・・(例) 講演会、読書会、パソコン・スマホの使い方教室	フェイスブック入門(春日町) 環境問題に関する映画と講演(南田中)など

5 その他

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	区の実現状況
1	サービスの方向性は、「地域を支える情報拠点」 役に立つ図書館 資料2 参照	
2	歩いていけるとところに図書館があるだろうか。登録者数の少ない地域と図書館の空白地帯には密接な因果関係があると思う。小規模、中規模を表示した図書館の場所が分かる練馬区の地図を資料として出していただきたい。 資料「図書館だより第19号（平成24年7月）」参照	図書館ホームページや電話で予約した書籍等が受け取れる「図書館予約資料受取窓口」を区内2か所[高野台（総合教育センター内）・豊玉（豊玉リサイクルセンター内）]に設置
	むこう10年の計画なら中央図書館建設も是非加えたい。 床面積 / 1人、資料数（子どもを除く） / 1人 は練馬区が23区の中でも最下位レベルにあると思う。資料を出していただきたい。 資料「区民一人あたりの図書館延床面積と蔵書数（児童書を除く）」参照	
	HPや図書館の表示を多言語化してほしい。英語、中国語、韓国語は必須	
	図書館HPにデータでわかる図書館像を載せてほしい。（区のHPのあらましではなく）	
3	著作権法のしぼりがあるが、将来の課題として音声化したものが他の障害者、高齢者、日本文字の苦手な人達にも利用できればいい。その時には素晴らしい文章の流れや朗読者のレベル・リズムが新たな楽しみを与えたいと思います。	
	中途失明者の立場としては、日本語は同音意義語が多いのでどの文字をあてているかとか、具体的に伝えられるようになってほしい。	
	私は、時々電話で広辞苑とイミダス、現代用語の基礎知識、国語大辞典などを調べてもらって各々の表現を比較して意味などを探るが、そういうことが図書館利用の醍醐味かもしれない。異なったいくつかの視点から見るような機能は、持ち続けてほしい。	
	私は、大学時代の専攻の関係から、英語、ラテン語、ヘブライ語、ギリシャ語、ドイツ語をかじったが、今思えば十分ではなかった。公立図書館にそれらのことを求めるのは大変だけれど、日本語だけは十分に対応できる力を備えておいてほしいと思う。	
	これからも区の職員による統轄と民間委託者による専門性を活用して二兎を追うべきで、民間委託者のより高度なレファレンス業務を望みたい。	
公立図書館としては、住民大多数の意見を尊重すべきだが弱者の小さな声にも配慮してほしい。		

	「ご意見シート」の意見	区の実施状況
4	<p>情報を発信することと同時に図書館に足を向けて頂く区民を増やすことも大事だと思います。</p>	<p>ブックスタートでは、赤ちゃんからの図書館利用カードの登録を勧める</p> <p>春日町図書館では、飲食や談話のできるラウンジ、地域の文化活動の作品展等ができるギャラリーを設置 大泉図書館では、談話ができる屋上庭園、関町図書館では、談話コーナーを設置</p>
	<p>区内の図書館利用者カード保有率を上げるなど。</p>	
	<p>また、静寂さを必要としないコミュニティエリアの設置で利用者の増加を促す。</p>	
	<p>高齢者向けのネット活用講座、幼児が本やパズルなどで自由に楽しめるなど。</p>	
5	<p>何人かの人に武蔵野中央図書館の利便性の良さを指摘されました。</p> <p>貸出登録カードに借りている本の題名が印字されること。そして何より絵本のコーナーは、作者名ではなく題名で並べかえてもらいたいという意見もありました。確かに小さい子供は、絵本の題名しか覚えていないことが多いです。ご検討よろしくお願ひ致します。</p>	
6	<p>全体を通して、今まで図書館を利用しなかった人たちに、いかに利用してもらえるかを考えていきたい。</p>	
	<p>図書館の活用の仕方やさまざまな行事を知らない区民も少なくないので、サービスという観点から考えれば、図書館は、本を借りるだけでなく、「便利で、地域に密着している」ことをアピールする必要があると思う。</p>	
	<p>今までの図書館の古いイメージを払しょくし、例えば、高齢者も使いやすく、情報がもらえる図書館、インターネットやスマホとリンクし、ビジネスマンや若者にも受け入れられる図書となれば、利用者層も増え、利用の仕方にも幅が出るであろう。</p>	
	<p>いただいた資料の南田中図書館の紹介文に「気軽に使えて、身近に感じられるご近所図書館となることを目指す」とあったので、南田中図書館の具体的な働きかけの内容と、実績などの情報をいただければ、ヒントになるのではないだろうか。</p> <p>資料「南田中図書館の「ご近所図書館」としての実施状況」参照</p>	
	<p>今年2月に実施した図書館アンケートの結果を拝見したところ、施設や蔵書に関して、満足している利用者が多いようだ。</p>	
	<p>その他の苦情や意見をもとに、できることから改善していただければ、利用する区民としては、声が反映されたことで、使いやすくなる上に、より親近感も増すであろう。</p> <p>さらにサービス事業の基本として、職員と利用者の円滑なコミュニケーションの重要性を再確認し、徹底することが大事だと思う。</p>	